

◆海外の選手は体格が大きく力が強いイメージがあります。体格差を埋めるために取り組んでいることは何ですか？  
 パワーで負ける部分は、トレーニングをしたり、俊敏さ、機動力でカバーできますが、大事なのはチームワーク。1対1にならないように4人がかりでプレーし、体格差をカバーします。

◆乗松選手のチーム内での役割を教えてください  
 ポジションはディフェンスです。僕が障がいの程度が比較的重い部類に入りますが、僕が持つ力の中でできるプレーをやっています。僕のできる仕事は味方の壁になることです。

**最後まであきらめない!**



interview 乗松 聖矢 (31)

1990年生まれ、荒尾市在住。徐々に手足に力が入らなくなる先天性の病で12歳から車いす生活に。23歳で始めた車いすラグビーでこれまで数々のスポーツ賞を受賞。リオ16パラリンピックで銅メダル獲得。2018年オーストラリア開催の世界選手権優勝メンバー。東京パラリンピック代表

◆車いすラグビーの見どころ、魅力を教えてください  
 車いす同士が激しくぶつかり合うところなどは、日常では見られません。パラ競技の中でも重度の障がいのある選手が、激しい競技をプレーしているところを私はかっこいいと思います。

◆車いすラグビーは、障がいの程度によって0.5〜3.5点(数字が大きいほど障がい軽い)までの持ち点が与えられ、持ち点が8点以内になるようにチームを編成します。乗松選手は何点ですか？  
 僕は1.5点です。出るラインナップによりませんが、3点、3点、1.5点、0.5点の4人でチームを編成しています。

◆2018年の世界選手権で世界一に輝き、世界ランク3位で東京パラリンピックを迎えます。今大会での目標を教えてください  
 前回のリオ大会では銅メダルに終わってしまったので、今回は金メダル獲得を目標にしています。予選同グループのオーストラリアとの対戦がカギになると思います。2戦目の相手のデンマークも最近力をつけてきているので、どの試合も厳しい戦いになるでしょう。

◆新型コロナで大会が1年延期されましたが、心境に変化はありましたか？  
 開催に向けて取り組んでもらっていることはありがたいですが、開催反対の意見

見もあるのが複雑な心境です。パラリンピックは注目度が高い特別な大会なので、金メダルを目指すこと、大会への気持ちに昨年からぶれはありません。最後まであきらめずに戦いたいです。

◆市民の皆さんに一言お願いします  
 車いすラグビーを知らない人も多いと思いますが、東京パラリンピックを機会に会場やテレビを通して試合を見てもらい、この競技の面白さを感じてもらいたいです。

日本代表として東京パラリンピックで活躍されることを期待しています。ありがとうございました

**車いすラグビー日本代表  
試合日程**

- ☆ 8月25日(水) 17:30 ~ 21:45  
 ・混合予選 日本 VS フランス
- ☆ 8月26日(木) 11:30 ~ 15:45  
 ・混合予選 日本 VS デンマーク
- ☆ 8月27日(金) 11:30 ~ 15:45  
 ・混合予選 日本 VS オーストラリア



写真 車いすラグビーワールドチャレンジ2019 ©JWRF/ABEKEN

熊本県市町村広報担当者による合同特集  
 ※令和元年度の合同特集を再編集したものです。

のりつけせいや  
**市内在住の乗松聖矢さんが  
 パラリンピック日本代表に決定!**

**やってみたモン!**  
**パラリンピック競技**

8月24日(火)~9月5日(日)に東京2020パラリンピック競技が開催され、熊本出身の選手たちの活躍も期待されます。東京で開催される大会を身近に感じてもらうため、車いす競技の中でも唯一タックルが認められている激しいスポーツ「車いすラグビー」をくまモンが実際に体験。代表の乗松選手にも話を聞きました。

**車いすラグビー日本代表乗松聖矢選手を応援しよう!**

写真 車いすラグビーワールドチャレンジ2019 ©JWRF/ABEKEN

**ボール運び**

選手はヒザの上にボールを乗せて移動しますが10秒以内にドリブルかパスをしなければいけません。ラグビーと違い前方へのパスもOK。

試合は、バスケットボールと同じ広さのコートで、4対4で行われます。選手の障がいの程度によって持ち点が違い、4人の合計点が決められた点数以下でチームを編成しなければなりません。

**車いすラグビーの紹介!**

©2010 熊本県くまモン

とっても激しく  
 魅力あるスポーツ!  
 見どころも満載!  
 みんなで応援しよう!

**トライ(得点)**

ボールを持って車いすの2つの車輪が、トライラインに乗るか通過すると点数が入ります。

**タックル**  
**ガシヤーン!**

車いす同士のタックルが認められています。タイヤの中心より後ろへのタックルは禁止。競技中は手でほかの選手の車いすや体に触れるのは反則です。